

## 2. トピック① 居住形態(親元か否か)別にみた学生生活

2018年度調査では、現在の居住形態と学生生活との関連をみていきます。まず、現在の居住形態を性別・文理・学年別にみると、表2のように、全体では「親元」62%、「一人暮らし」23%、「学生寮」10%と、「親元」で暮らしている人が多くなっています。男子の方が女子よりもやや「一人暮らし」の比率が高いものの、性別よりも文理・学年別に傾向があるようです。すなわち、「親元」で暮らす比率は、男女とも同学年内では、総じて文系よりも理系で高くなっています。また、「学生寮」は男女・文系・理系とも1年で高く、高学年で低くなります。対照的に「一人暮らし」は総じて高学年で高い傾向がみられます。

表2 現在の居住形態

(%)

	N	親元で暮らしている	親元を離れている				
			一人暮らし	学生寮	家族(兄弟など)と同居	友人などと同居(ルームシェア)	その他
全体	3178	62.2	22.7	9.9	2.6	1.7	0.8
女子全体	1371	61.6	20.9	10.8	3.2	2.8	0.7
文系1年	382	57.6	16.8	18.8	3.4	2.6	0.8
文系2年	319	60.5	21.9	11.9	2.5	2.8	0.3
文系3年	275	56.7	26.9	6.2	5.5	4.4	0.4
文系4年以上	216	64.8	23.6	6.0	1.9	2.8	0.9
理系1年	53	73.6	17.0	7.5	1.9	0.0	0.0
理系2年	50	72.0	18.0	2.0	0.0	4.0	4.0
理系3年	42	81.0	7.1	4.8	4.8	0.0	2.4
理系4年以上	34	76.5	17.6	2.9	2.9	0.0	0.0
男子全体	1807	62.8	24.1	9.2	2.2	0.9	0.8
文系1年	387	58.4	20.9	17.1	2.3	0.5	0.8
文系2年	337	62.6	22.3	10.7	2.7	0.6	1.2
文系3年	320	62.5	27.2	6.3	2.2	1.6	0.3
文系4年以上	252	63.1	29.0	4.0	1.6	1.2	1.2
理系1年	143	58.0	20.3	18.2	2.1	0.7	0.7
理系2年	127	71.7	24.4	2.4	0.0	0.8	0.8
理系3年	131	72.5	21.4	3.8	1.5	0.8	0.0
理系4年以上	110	62.7	29.1	0.9	5.5	0.9	0.9

## 生活習慣

では、「親元で暮らしている」「親元を離れている」別に、日常生活(朝食の習慣、運動の頻度、睡眠時間、通学手段、通学時間)をみていきましょう。

朝食の習慣は、居住形態と大きく関連しているようです(図6)。「朝食を毎日取る」比率をみると、明確に、親元で暮らしているグループで高く、親元を離れているグループで低い傾向があります。親元で暮らしている場合には73%が「毎日取る」のに対して、親元を離れている場合には45%にとどまり、「ときどき取る」が35%、さらに「取らない」も21%を占めます。またそれぞれのグループ内では1年で高く、2年以上はその比率が低くなり、かわって「ときどき取る」比率が高くなります。

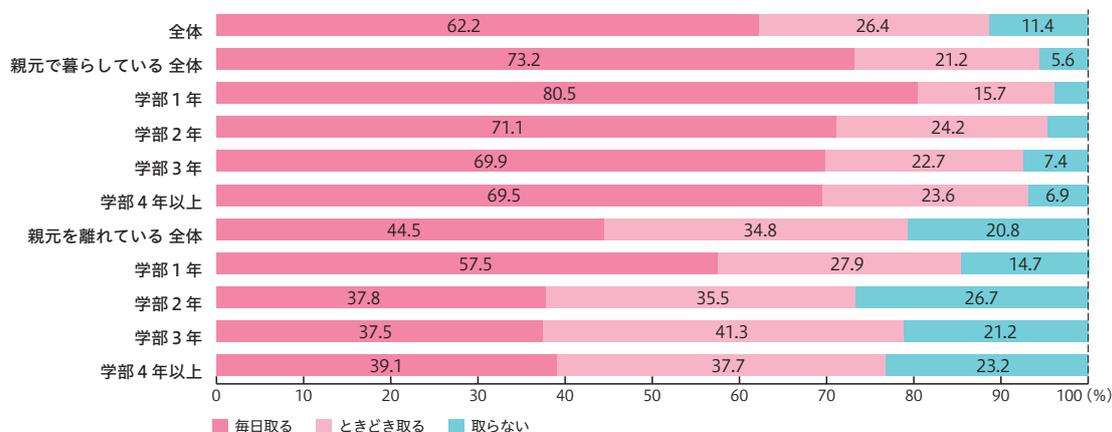


図6 居住形態・学年別にみた朝食の習慣

つづいて、運動の習慣をみていきましょう。図7のように、運動の頻度は、全体では35%が「週に1、2回」となっています。居住形態との関連よりも、総じて低学年で頻度が高く、高学年で低い傾向を指摘できます。1年では「週に3回以上」と「週に1、2回」が合わせて6割を上回るのに対して、4年以上では5割を下回っています。

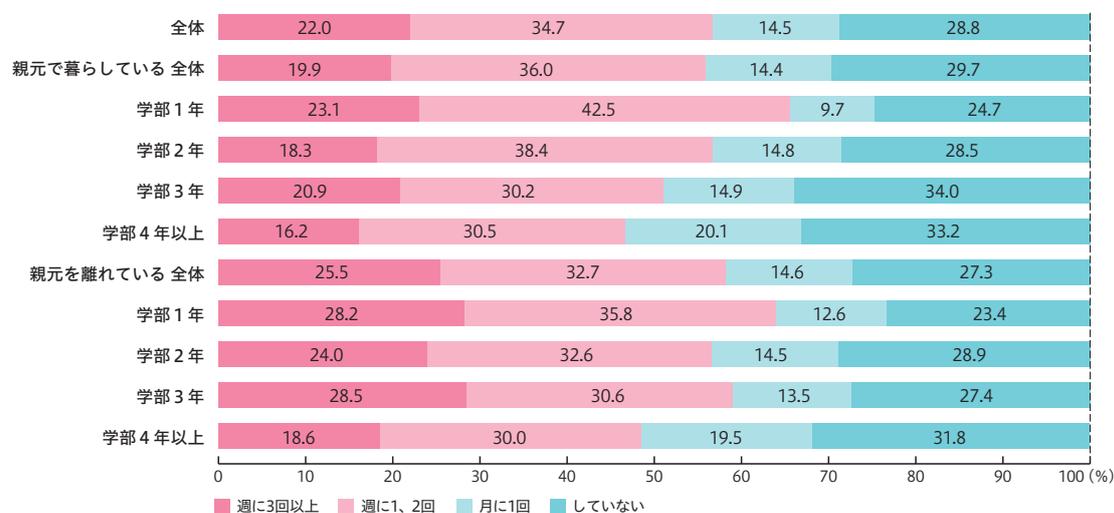


図7 居住形態・学年別にみた運動の頻度

また、睡眠時間をみると、図8のように、居住形態との関連はみられません。運動習慣と同じく、学年との関連が強いです。学年が低いほど概して睡眠時間が短い人の比率が高く、高学年で低くなっています。1年、2年では「5時間未満」と「5時間」の比率が3割程度であるのに対して、4年以上では2割以下となっています。

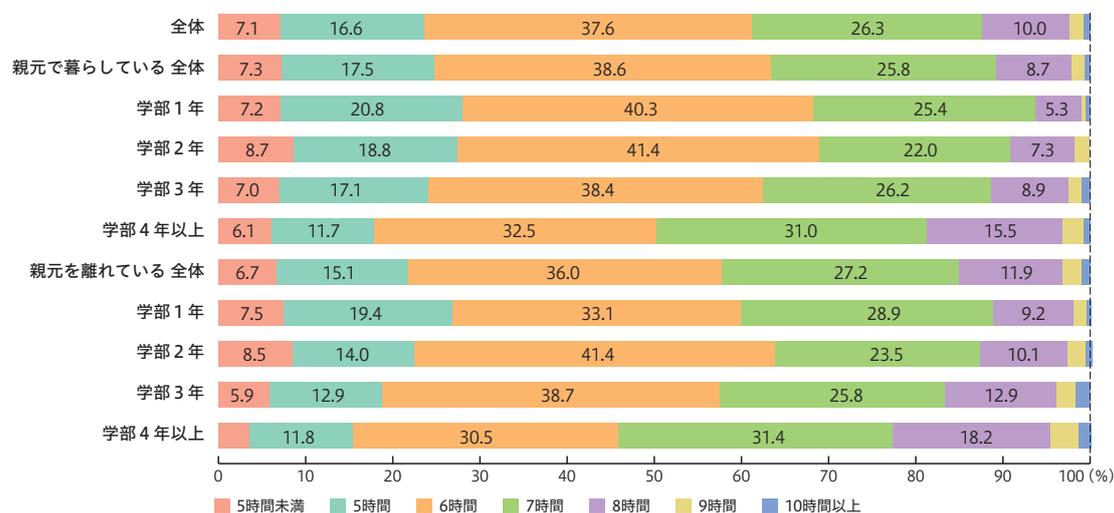


図8 居住形態・学年別にみた睡眠時間

## 通学手段・時間

通学手段は、図9のように、居住形態ごとで大きく異なっています。親元で暮らしている場合にはほぼ全員が「公共交通機関」を利用しているのに対し、親元を離れている場合には、「公共交通機関」の利用が6割程度にとどまり、「徒歩のみ」「その他」（自転車のみなど）が合わせて4割程度となっています。

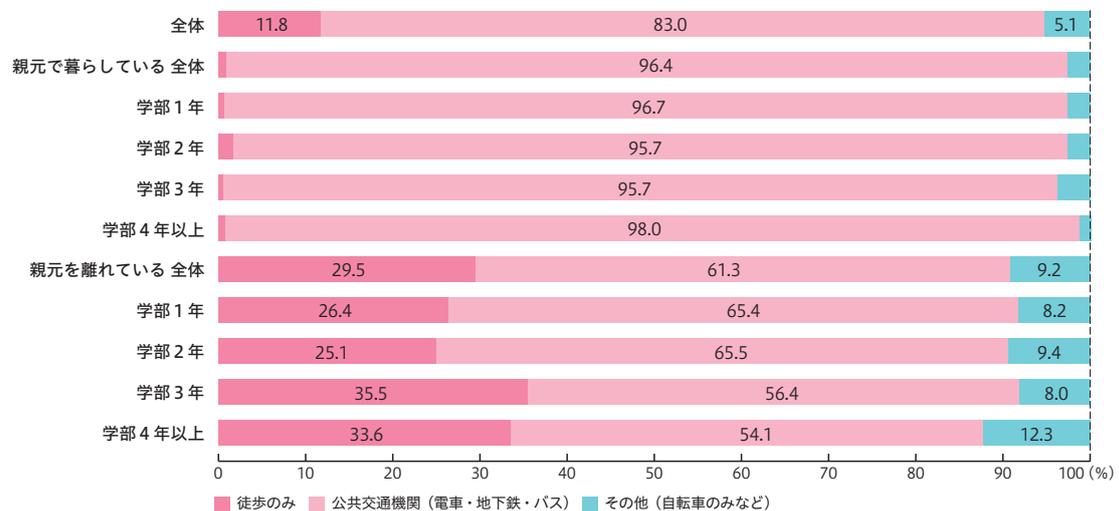


図9 居住形態・学年別に見た通学手段

必然的に、通学時間も大きく異なっています（図10）。親元で暮らしている場合には、公共交通機関を利用して、「30分以上1時間以内」「1時間以上1時間30分以内」をかけて通学している人が70%を超えています。それに対して、親元を離れている場合には、「15分以内」「15分以上30分以内」で通学している人が55%、「1時間以内」を加えると91%に達しています。

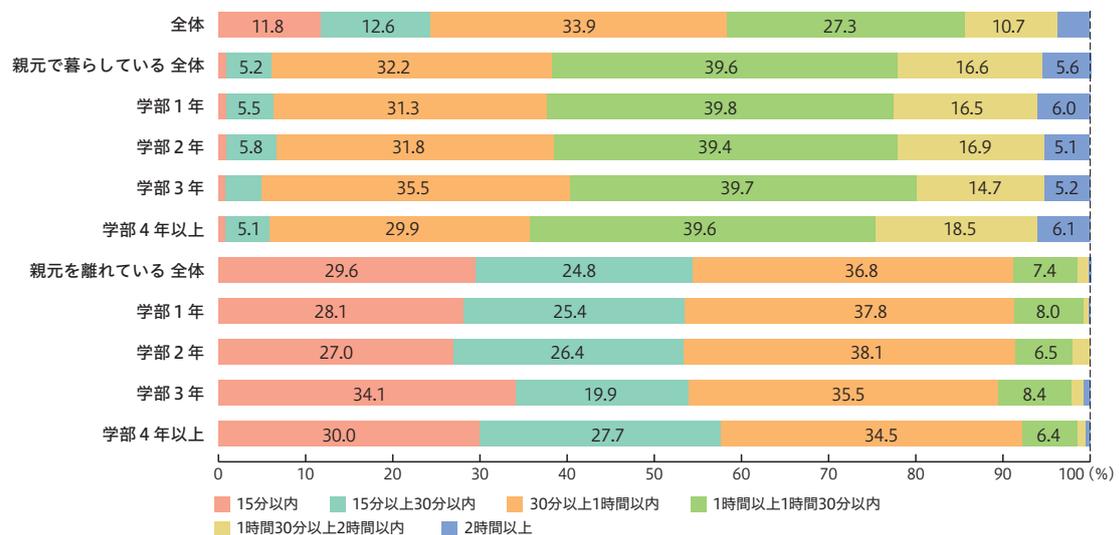


図10 居住形態・学年別に見た通学時間

## 定期的なアルバイト

現在の定期的なアルバイトの有無とアルバイト先をみましょう。表3のように、全体の75%が現在アルバイトをしています。その比率は、親元を離れているグループよりも親元で暮らしているグループで高く、総じて高学年ほど高い傾向があります。親元で暮らしている4年以上では83%となります。アルバイトをしている学生のほとんどは、アルバイト先が「大学とは関わりのないところ」で、「大学内」の人はわずかです（数値省略）。

アルバイトの時間帯は、同表のように、親元で暮らしているグループの方が親元を離れているグループよりも「早朝（5～9時）」の比率が高く、高学年ほど高くなっています。反対に親元を離れているグループでは、「深夜（22～5時）」でのアルバイトの比率が高い傾向があります。

表3 居住形態別にみた定期的アルバイトの有無と時間帯（複数回答） (%)

	N	している	時間帯(複数回答)					していない	
			n	早朝 (5～9時)	午前 (9～12時)	午後 (12～18時)	夜間 (18～22時)		深夜 (22～5時)
全体	3182	75.0	2362	9.9	31.0	49.5	79.5	15.6	25.0
親元で暮らしている									
全体	1973	79.4	1556	10.8	31.5	49.8	81.4	13.5	20.6
学部1年	566	68.7	384	6.3	19.0	43.5	85.7	10.4	31.3
学部2年	531	86.3	456	10.5	31.4	47.8	81.6	13.4	13.7
学部3年	484	81.4	391	12.5	33.0	50.4	81.3	17.1	18.6
学部4年以上	392	83.2	325	14.5	44.6	59.4	76.3	12.9	16.8
親元を離れている									
全体	1209	67.8	806	8.1	30.1	49.0	75.7	19.6	32.3
学部1年	398	57.8	212	4.2	15.6	41.5	80.2	17.5	45.2
学部2年	305	74.1	225	9.8	27.1	43.1	83.6	21.8	25.9
学部3年	287	72.1	202	9.4	35.1	51.5	67.3	22.3	27.9
学部4年以上	219	76.7	167	9.0	46.7	63.5	69.5	16.2	23.3

アルバイトをしている学生の週当たりのアルバイト時間数は、図11のとおり、親元で暮らしているグループよりも親元を離れているグループで長く、かつ低学年よりも高学年で長い傾向があります。その結果、親元を離れているグループの4年以上では、45%が「週に15時間以上」アルバイトをしています。この比率は、親元で暮らしているグループの1年では18%にとどまっています。

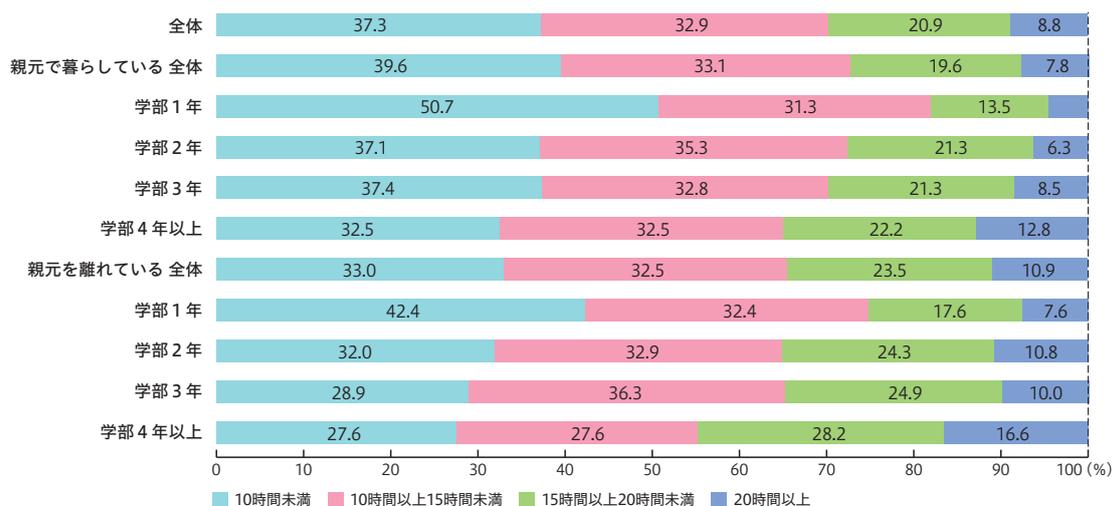


図11 居住形態・学年別にみた週当たりアルバイト時間数

アルバイトの平均月収は、図12のように、時間数と呼応する結果となっています。すなわち、親元で暮らしているグループよりも親元を離れているグループで高く、かつ低学年よりも高学年で高い傾向です。その結果、親元を離れているグループの4年以上では、41%が「6万円以上」の収入を得ています。この比率は、親元で暮らしているグループの1年では20%にとどまっています。



図12 居住形態・学年別にみたアルバイト平均月収

最後にアルバイト収入の用途をみると、表4のように居住形態ごとに大きく異なっています。親元で暮らしているグループでは、用途としては「身の回り費」がもっとも多く、64%の人が充てています。ついで「旅行・レジャー費」、「コンパ・交際費」「生活維持費」とつづきます。この順位は、1年のみ「旅行・レジャー費」と「コンパ・交際費」の順序が逆転し、「生活維持費」ではなく「課外活動費」が入ります。対照的に、親元を離れているグループでは、「生活維持費」がもっとも多く、全体では75%の人がアルバイト収入を充てています。ついで「身の回り費」「旅行・レジャー費」「コンパ・交際費」の順となります。親元で暮らしているグループと同じく、1年では「旅行・レジャー費」と「コンパ・交際費」の順序が逆転しています。このように、学生たちはアルバイト収入を生活維持や身の回りの費用に充て、そのうえで、余暇費用に充てていることがわかります。

表4 居住形態・学年別にみたアルバイト収入の用途(複数回答)

	N	1位	2位	3位	4位
親元で暮らしている					
全体	1560	身の回り費 63.7%	旅行・レジャー費 58.9%	コンパ・交際費 56.3%	生活維持費 42.8%
学部1年	389	身の回り費 58.9%	コンパ・交際費 54.2%	旅行・レジャー費 51.9%	課外活動費 42.9%
学部2年	455	身の回り費 66.8%	旅行・レジャー費 60.7%	コンパ・交際費 55.8%	生活維持費 43.5%
学部3年	391	身の回り費 64.5%	旅行・レジャー費 62.4%	コンパ・交際費 57.5%	生活維持費 49.9%
学部4年以上	325	身の回り費 64.3%	旅行・レジャー費 60.6%	コンパ・交際費 58.2%	生活維持費 41.5%
親元を離れている					
全体	814	生活維持費 74.9%	身の回り費 55.9%	旅行・レジャー費 46.9%	コンパ・交際費 45.3%
学部1年	215	生活維持費 71.2%	身の回り費 47.4%	コンパ・交際費 40.0%	旅行・レジャー費 34.9%
学部2年	226	生活維持費 79.2%	身の回り費 58.8%	旅行・レジャー費 50.4%	コンパ・交際費 44.7%
学部3年	205	生活維持費 73.2%	身の回り費 57.6%	旅行・レジャー費 49.3%	コンパ・交際費 46.3%
学部4年以上	168	生活維持費 76.2%	身の回り費 60.7%	旅行・レジャー費 54.8%	コンパ・交際費 51.8%